

— 令和8年9月号 —

佐世保市地域おこし協力隊

宇久地区担当 高野橋 悠佑 田中 信吾

ご挨拶

はじめまして。7月から宇久島へ移住し、地域おこし協力隊として活動させていただいてる高野橋 悠佑（たかの はし ゆうすけ）と申します。出身は千葉県で、大学では静岡に、卒業後は福岡に住んでいました。

個人事業主としてルアーの製造・販売を行ないながら、GWや夏休みに三宅島へ働きに行く生活をしていました。ルアーの実釣テストのために宇久島へヒラマサを釣りに通うようになり、その際に地域おこし協力隊の存在を知りました。着任後は宇久町観光協会に勤務し、カヤックやSUPなど、体験プログラムのガイドやお土産作りを行っています。

ご想像の通り、休みの日は釣りに行くことが多いです。それ以外にも、シュノーケリングや包丁を研ぐなどをして過ごしています。

よろしくお願いします！



活動詳細～高野橋隊員～



カヤックから見る大浜

観光協会の体験プログラムにカヤック・SUP体験があり、それを安全に実施出来るようになるため、着任してすぐにシュノーケリングガイド・救命救急の講習を受け、資格を習得しました。その翌日からカヤックガイド実践デビューし、そこで一人でもガイド出来るように鍛えられ、今では、風、海の状況、技術、体力を踏まえ、90分間お客様がどのように楽しめるかしっかりプランを考えて実行できるようになりました。宇久島の綺麗な景色やクリアカヤックでの魚探しを楽しんで頂けています。SUP体験では、技に挑戦する楽しさを味わっていただきました。



SNSにも力を入れており、海に潜った動画や、カヤック・SUPからの景色などを載せています。中には閲覧数950万回を超えた投稿もあり、大変多くの方に見ていただけております。

PV数950万超えの「アオイガイ」 貝殻を持つタコの仲間です。

稲刈り体験ツアー

観光協会にとっても初めての試みで、島外の親子を対象に稲刈り体験ツアーを行いました。初日は手刈りだけでなく、機械にも乗り、稲を刈ることができる貴重な体験をしていただきました。夜は民泊で島の食材を使った料理を堪能し、翌日は、カヤックに乗り、海を楽しんでいただきました。

宇久島の魅力を伝えるだけでなく、島民と島外の人との関わりを増やす、良いツアーになったと思います。参加した方々からは、「また宇久島に行きたい!」と帰りのフェリーの中で思っていたいただいたようで、大変嬉しく思います。そのほかにも、「稲刈りなど普段できない貴重な体験をすることが出来た!」、「美味しいご飯を食べることが出来て良かった!」、「カヤックのほかにもさまざまなマリンアクティビティをしてみたい!」などのご意見をいただきました。

今後似たようなイベントを行う際は、今回の経験を活かし、より満足の頂けるものに出来るよう努めていきます。



活動詳細～田中隊員～

【2年目の夏、少しずつ「島の日常」に】

地域おこし協力隊になって2年目の夏を迎えました。最近は夕方になるとランニングをして、沈んでいく夕陽を眺めることが日課になっています。夏の緑に包まれた森を抜けると、切り立った磯とどこまでも広がる海。森の匂いや波の音を感じながら、宇久島の雄大な自然を全身で味わっています。そんな景色の中にいると、「この瞬間は、きっと一生忘れられない記憶になる」と、ふと思うことがあります。

振り返ると、昨年よりも少し深く島に馴染めたように感じます。島を歩けば「田中くん！」と声を掛けていただき、何気ない立ち話を交わす日常があります。景色だけでなく、人とのつながりも含めて、宇久島が自分にとって大切な場所になってきました。



祇園祭

令和8年度宇久島花火大会

宇久島離島活性化協議会で、宇久島の二大イベントの一つ「宇久島納涼花火大会」を開催しました。

「ガラガラ抽選会はどうしよう」「花火代の値上がりがすごい」「ステージイベントお願いしたい」となど、考えることは盛りだくさん。準備を進める中では、大きなイベントを運営する大変さも実感しました。

一方、開催日が近づくにつれて帰省客や観光客も増え、「今年も花火大会楽しみにしてるよ!」という声をいただくように。多くの方が楽しみにしている宇久島の夏の風物詩なんだと改めて感じ、準備にも一層力が入りました。

そして迎えた当日。大きな事故もなく無事に大会を終え、最後にステージから眺めた花火は、それまでの苦労もあって、いつもとは少し違って見えました。「無事に終わった!」という達成感の中で見上げた花火は、今年の夏の忘れられない景色の一つになりました。



堀川観音祭～島に残る風習に触れて～

8月18日（火）、今年も「堀川観音祭」に参加しました。

堀川観音祭は、子どもたちの成長を見守り、無病息災を願うお祭りです。堀川地区の方々にとっては、このお祭りが終わるまでがお盆を含めた夏の忙しい時期だそう。

私の地元・諫早とはお参りの作法も異なり、ロウソクやお供え物を持って、地区の方々に教えていただきながらお参りしました！夜には、お堂で餅切りを見学し、堀川地区の漁業や昔のお盆の過ごし方など、貴重なお話も伺いました。

昔は島内のさまざまな地区から多くの方がお参りに訪れていたようですが、現在は参拝する方も少なくなっているとのこと。島に残る文化や風習を実際に体験し、記録すること。そして、若い世代が少なくなる中で、どう次の世代へつないでいくのか。

地域の文化を継承することの大切さを、改めて考える一日となりました。



SNS強化中！

協力隊
Instagram



離島活性化協議会
Instagram



観光協会
Instagram



観光協会公式ブログ
「うくログ」

